

令和3年度 桃陽総合支援学校 前期学校評価アンケート

確かな学力	健やかな身体	豊かな心		教職員				保護者					生徒				病院等関係者									
				よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出ていない	わからない	そう思う	大体そう思う	あまり思わない	思わない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出ていない	わからない					
			学習について	① 児童生徒の基礎的な学力の向上を目指した指導を行う。	6.0%	75.0%	19.0%	0.0%	② 子どもが学習内容を理解し、基礎的な学力をつける	19.0%	67.0%	7.0%	0.0%	11.0%	② 勉強はよくわかる	38.0%	48.0%	10.0%	10.0%	③ 導入したICT機器等を有効に活用し、工夫した授業がされている	47.0%	42.0%	3.0%	0.0%	8.0%	
				③ 子どもがICT機器を利用できるように指導する	19.0%	69.0%	13.0%	0.0%	③ 子どもが話をしっかり聞く	37.0%	48.0%	15.0%	0.0%	4.0%	③ 先生や友だちの話をよく聞いている	33.0%	38.0%	19.0%	10.0%							
				④ 自主学習が習慣づく指導を行う	6.0%	50.0%	44.0%	0.0%	⑤ 書籍や新聞タブレットなどを利用して、必要な情報を収集する	19.0%	37.0%	22.0%	11.0%	15.0%	⑤ 本や新聞タブレットを使い、調べたり考えたりしている	52.0%	14.0%	14.0%	24.0%							
				④ 自主学習が習慣づく指導を行う	6.0%	50.0%	44.0%	0.0%	⑥ 子どもが自主学習の習慣を身に付ける	15.0%	26.0%	41.0%	15.0%	7.0%												
				⑪ わかりやすい授業づくりを工夫する(ICTの有効活用を含む)	13.0%	75.0%	13.0%	0.0%	⑩ 学校がわかりやすい授業を工夫する	63.0%	22.0%	4.0%	0.0%	15.0%	⑩ タブレットや電子黒板を使って学習することでよくわかる	43.0%	43.0%	10.0%	10.0%							
															⑬ 先生は私の質問に丁寧に答えてくれる	38.0%	52.0%	10.0%	5.0%							
			生活について					① 子どもが楽しく学校に通う	41.0%	48.0%	7.0%	0.0%	7.0%	① 学校生活は楽しい	38.0%	48.0%	14.0%	5.0%	① 児童生徒は楽しく学校生活を送っている	39.0%	56.0%	0.0%	0.0%	3.0%		
				② 子どもが相手を意識して聞いたり話したりできるように指導する	6.0%	81.0%	13.0%	0.0%	④ 子どもが相手に伝わるように話す	19.0%	52.0%	7.0%	15.0%	11.0%	④ 思ったことや考えたことを話している	24%	48%	19%	14%							
				⑤ 児童生徒がすすんであいさつできるように指導する	6.0%	63.0%	31.0%	0.0%	⑦ 子どもがあいさつをする	26.0%	52.0%	19.0%	7.0%	0.0%	⑥ 自分からすすんであいさつしている	24.0%	38.0%	19.0%	19.0%	④ 来校したとき児童生徒は挨拶する	14.0%	28.0%	19.0%	8.0%	31.0%	
				⑥ 子どもが場に応じた言葉づかいができるように指導する	0.0%	81.0%	19.0%	0.0%	⑧ 子どもが場に応じた言葉づかいをする	19.0%	37.0%	37.0%	4.0%	7.0%	⑦ その場に応じた言葉づかいをしている	24.0%	24.0%	38.0%	19.0%							
				⑨ 子どもが協力して取り組めるような活動を計画立案する	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	⑩ 子どもたちが協力して学校生活をおくる	33.0%	33.0%	7.0%	4.0%	26.0%	⑨ 相手の人の気持ちを考えて行動している	24.0%	52.0%	10.0%	19.0%							
				⑧ 学校の行事のねらいを明確にし、児童生徒にとって意義のあるものにする	13.0%	75.0%	13.0%	0.0%	⑪ 学校行事が子どもにとって意義のあるものになっている	44.0%	30.0%	11.0%	4.0%	15.0%	⑩ 友だちと一緒に活動すると楽しいTV会議などの活動も含む	57.0%	29.0%	10.0%	10.0%	② 学校行事において児童生徒は生き生きとした活動の様子が見られる	31.0%	50.0%	6.0%	0.0%	14.0%	
				⑦ 社会のルールや生活のマナーが守ることができるように指導する	0.0%	88.0%	13.0%	0.0%	⑨ 子どもが社会のルールを守り生活のマナーを身に付ける	15.0%	56.0%	30.0%	0.0%	4.0%	⑧ 学校の決まりや約束を守っている	38.0%	38.0%	14.0%	14.0%	⑤ 児童生徒は社会のルールを守り生活のマナーを身に付けている	8.0%	50.0%	22.0%	14.0%	6.0%	
				⑬ 子どもが自分の健康管理に気を付けられるように指導する	44.0%	56.0%	0.0%	0.0%	⑫ 子どもが自分の体のことを気付けて活動する	26.0%	56.0%	11.0%	4.0%	7.0%	⑮ 病院の先生や看護師さんの言われたことを守っている	29.0%	57.0%	14.0%	5.0%							
				自己理解・キャリア発達に関	⑩ 子どもの良いところを見つけほめる	38.0%	56.0%	0.0%	0.0%						⑪ 自分には良いところがあると思う	43.0%	33.0%	14.0%	14.0%							
					⑫ 子どもの相談に適切に応じる	38.0%	63.0%	0.0%	0.0%	⑬ 子どもが家族や先生に自分の思いを伝える	26.0%	56.0%	11.0%	7.0%	4.0%	⑭ 私の悩みや困りごとを聞いてくれる人がいる	48.0%	29.0%	24.0%	5.0%	⑥ 教職員に連絡や相談がしやすい	31.0%	47.0%	11.0%	8.0%	3.0%
			⑭ 児童生徒に関することを主治医と十分話し合い個別の包括支援プランに活かす		6.0%	50.0%	38.0%	6.0%	⑮ 学校が個別の包括支援プランについて、わかりやすく説明する	41.0%	37.0%	7.0%	0.0%	19.0%	⑯ 目標をもって生活している	52.0%	29.0%	14.0%	10.0%							
			教育環境や地域との連携について	⑮ 個別の包括支援プランを適切に修正・更新し懇談会やカンファレンスに生かす	6.0%	25.0%	69.0%	0.0%	⑯ 個別の包括支援プランにおいて、子どもに合った短期目標が設定されている	41.0%	33.0%	11.0%	0.0%	19.0%						⑦ 桃陽総合支援学校のホームページを見たことがある	8.0%	25.0%	17.0%	36.0%	14.0%	
				⑯ 教育活動の情報をタイムリーにホームページなどで知らせる	19.0%	31.0%	44.0%	6.0%	⑰ 学校だより、ホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	41.0%	41.0%	7.0%	0.0%	15.0%					⑧ 学校だより、ホームページなどをみると、学校の様子がよくわかる	11.0%	53.0%	6.0%	6.0%	25.0%		
				⑰ 学校経営方針に基づく予算を立案し、効果的な執行をする	13.0%	44.0%	44.0%	0.0%	⑱ 学校が預り金や就学奨励費について十分な説明をする	48.0%	44.0%	4.0%	4.0%	4.0%												
				⑱ 保護者・病院・地域との連携を密にして、より開かれた信頼される学校づくりを推進する	13.0%	75.0%	0.0%	13.0%	⑲ 学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	59.0%	37.0%	0.0%	4.0%	4.0%							⑨ 学校・家庭・病院・地域が連携して子どもたちを育てる	14.0%	64.0%	14.0%	0.0%	8.0%
				⑲ 近隣地域との交流を通して社会の一員であることを実感できる活動を実施する	6.0%	31.0%	38.0%	25.0%																		
				⑳ 児童生徒や保護者に係る個人情報の管理に細心の注意を払う	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%																		

子どもの健康管理に関すること、良いことを見つけてほめる、相談に適切に応じる、個人情報の管理に関することは、教職員全員ができていますと評価している。また、学力向上を目指しわかりやすい授業を行うことも9割近くができていますと評価している。一方で、ホームページのタイムリーな発信や地域との連携は不十分と評価しており、特に個別の包括支援プランを十分活用できていないと考えている。

80%以上の保護者が基礎学力をつけ、楽しく学校に通っていることと評価しているが、週末など外泊時の姿から、自主学習の習慣はついていないように感じておられる。預り金や就学奨励費の説明、学校・保護者・病院・地域との連携など教育環境面の評価は高い。

勉強はよくわかる、学校は楽しいと80%以上の児童生徒が回答している。また、タブレットを使って学習することでよくわかると回答する児童生徒も80%を超えている。自分には良いところがある、悩みを聞いてくれる人がいると答えた児童生徒が80%近くいることから、前期の段階では学校が心地よい場であると感じているようだ。

90%の方が児童生徒が楽しく学校生活をおくっていると評価され、行事に取り組む姿勢も評価されている。ICT機器の有効活用は配信授業だけでなく、リモートカンファレンスの開催にも一翼を担いポイントが高くなっている。

【全体を通して】

- 子どもたちは約86%が「学校は楽しい」と思っている。保護者も病院等の関係者も同様に感じていただけているようだ。
- 「勉強がわかる」「タブレットで分かる」「質問に答えてくれる」などの項目のポイントが高いことから、『わかる』手応えのある生活を楽しんでいるものと推察する。入院生活をおくる中で学校生活が占める割合は大きい。「楽しい」と感じてくれていることに安心するとともに、引き続き「楽しい」の質を高めていきたい。
- 子どもたちが肯定的にとらえている項目のほとんどは、保護者や教職員の評価と一致している。しかし、教職員が指導できていると思っているほど、「自主学習の習慣化」は身につけていないという評価であった。
- 教職員は、子どもに応じた短期目標を設定することはできているが、修正や更新をして活用することが不十分と考えている。

**確かな学力の育成:**  
児童・生徒が少人数であるという環境を生かし、学習の理解が進む対応ができていますと考える。目が届くことにより、児童生徒が自ら考える機会やより理解を深める機会を奪うことがないように配慮も必要である。

**豊かな心の育成:**  
学年がすすむにつれ、目標をもって参加している割合が増えている。なりたい自分の姿を少し具体的に描いている生徒が出てきているためと思われる。中学生はチャレンジ体験を通して、できたことを評価するだけでなく、できないことを表明できたことについても、肯定的にとらえることができていた。教職員の多くが、個別の包括支援プランを十分生かし切れていないと考えている。

**健やかな身体の育成:**  
治療や薬の管理、感染予防など身体面では気を付けている様子がアンケート結果からうかがえる。しかし、学年が進むにつれ、悩みや困りごとが複雑化し、多岐にわたるため、また、心配かけまいという気持ちも働き、相談できる環境にないことを訴える生徒もいる。身体のことや進んで挨拶するなど、具体的な方法がわかる内容については「できる」と答えている児童生徒も、場に応じた言葉遣いやルールやマナーを守って生活するなど「臨機応変さ」を求められる場面には「自信」を持っていない。

**独自の取組:**  
育支援センターによる高校生支援のコーディネートは定着しており、府下・府外からの問い合わせや依頼が増えている。ICTの活用はコロナ禍において学習時の活用だけでなく、会議や交流等に導入しやすくなっている。リモートでの交流やカンファレンスを経てスムーズな復学につながっている。